

京都ボランティア協会 2009年度事業報告(案)

目次:

I 事業

1.【ボランティアコーディネート事業】	…1ページ	【別添資料1】
2.【援助・交流事業】	…2ページ	【別添資料2】
3.【広報事業】	…5ページ	
4.【研修事業】	…6ページ	【別添資料3】
5.【研究事業】	…7ページ	
6.【地域密着型外部評価、 介護・福祉サービス第三者評価、 介護サービス情報の公表調査】	…7ページ	【別添資料4・5】
7.【企業・労働組合の社会貢献活動の 推進】	…8ページ	
8.【ボランティア団体・NPO団体、当事 者支援】	…8ページ	

II 組織・運営

1.【組織・運営体制整備】	…9ページ
---------------	-------

I 事業

(単位:千円)

1.【ボランティアコーディネート事業】

事業項目	事業目的	事業結果・今後に向けて	決算	
			収入	支出
ボランティアコーディネート相談の実施	・ボランティアを求める人、ボランティア活動を求める人の需給調整を行う	・ボランティアコーディネート相談の実施/対応件数 2337件(2358件)	53	1,401
		・ボランティア依頼 113件(151件)。件数は減っているが重度障がい児者、一人親家庭からの余暇支援等が新規で7件入った。共働きや一人親家庭はこれまでもあったが、ハンディのある子を抱える一人親家庭から一気に5件増は初めて。親不在の時間をヘルパー利用だけでは埋められず、やむなく「ボランティア頼り」状況がうかがえる。		

	<p>・生活・福祉ニーズの把握と分析</p> <p>・ボランティア登録者の継続と増加をはかる</p>	<p>・ボランティア相談の実施(団体活性化などの相談、ボランティア保険相談、講師派遣等)最初の相談/382件(395件)。</p> <p>・ケース検討・情報交換会議の定例化/定例化できず。</p> <p>・関係機関情報交換会議への参加</p> <p>・ボランティア登録者交流会 ねこのてさろん(会員・登録Vとの交流)実施</p> <p>・「きょうボラ」の5回発行各2000枚 「ボラタス」と共に発送</p> <p>・大学等への事業紹介活動の実施/立命館大学(ボランティアコーディネーター養成研修、佛大ボランティアグループ登録会、第3回ボランティア市民活動フェスタ参加・出</p> <p>・ボランティア登録者の増員/184人(145人)。うち新規登録者が71人と昨年度の55人から16人の増加。</p>	<p>・新規登録ボランティアの増加は、祭の準備や当日ボランティアからの登録、重度ハンディのある人たちへの余暇支援への興味があり、それらが登録者につながったことがあげられる。</p> <p>・「いつでもどうぞ」という時間にさほど拘束されず、ボランティア側が「必ず行かなくてはならない」という依頼では、活動に結びつくケースは少なく、平日昼間の活動も、社会人や学生にとっては動きにくい時間帯ということもあり、活動していないボランティアが大きく増えた。</p> <p>・ボランティアに来てほしい人の、時間や曜日指定のある依頼内容は、「その日必ず行かなくてはならない」という重荷があり、ボランティアしたい人の望む活動とは乖離している。新たな活動層、人数増、在宅ケースを支える活動をしているボランティア同士、専門職など含んだ話し合いの場が必要</p> <p>・2009年度は情報連絡会が開催できず、情報共有を含め大きな事務局内での課題である。(2010年度実行)</p> <p>()内は2008年度の数字。詳細については【別紙(資料1)】</p>	
--	--	--	--	--

2.【援助・交流事業】

			決算	
事業項目	事業目的	事業結果・今後に向けて	収入	支出
第3回きょうボラふれあい祭	ボランティアスタッフ、関係団体、企業他との出会い、ネットワークを築く機会になるよう、当日参加はもとより企画、運営を協働する。	・ボランティアスタッフ学習会の開催は2009年はできなかったが2010年総会后ボランティア交流会開催の予定	1回目2回目の祭以上の集客があり(3000人)、「ひびけこだま お〜お隣さ〜ん」をテーマに美山福居地区や右京区社協との新たな繋がりができた。	1,722 3,256

<p>9/27(日) 午前10:00～午後4:00 会場:みやこめっせ 1階D面(4分の1スペース)</p>	<p>【別添参照 資料2】</p>	<p>・実行委員会の設置(企画・運営)/準備・振り返りの会含め8回開催。実行委員は30名となった。市場等への参加団体からの実行委員会参加も定着。</p> <p>・ボランティア相談コーナーを開設した。会場内に15ヶ所程度ボランティア相談の広報もおこなった。</p> <p>・祭のホームページの管理。ボランティアによる管理でインタビュー配信等工夫があった。</p> <p>・バザー物品、抽選物品の確保/協賛企業や会員、一般からの物品は微減(85カ所)。黄色いレシートキャンペーン活動でのレシート金額から得られた食料品や日用消耗品の景品は有り難かった。</p> <p>・広報スタッフの配置/確定したスタッフ配置はできなかったが、チラシ作製には立命館大学のインターンが携わってくれた。</p> <p>・きょうボラふれあい祭の開催/入場者約3000人。協賛34、後援14。参加団体:ステージ11、市場27、子ども7。準備段階ボランティアのべ129人。前日準備49人、当日143人。</p> <p>・祭の記録・報告書の作成/新たなボランティア参加によるDVD作成と協賛・後援・参加団体等への配布</p>	<p>福祉分野以外からの参加団体も増え、新たな「お隣さん」となるような取り組みが求められる。実行委員メンバーも新たな人材が加わり貴重な存在が増えた。</p> <p>※助成金 等(順不同、敬称略)</p> <table border="0"> <tr> <td>京都府「地域力再生」</td> <td>493千円</td> </tr> <tr> <td>京都新聞社会福祉事業団</td> <td>40千円</td> </tr> <tr> <td>経糸の糸</td> <td>50千円</td> </tr> <tr> <td>バザー・協力抽選券売上</td> <td>842千円</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>127千円</td> </tr> </table> <p>祭収支報告(単位:千円)</p> <table border="0"> <tr> <td>収入計※</td> <td>1,552</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td></td> </tr> <tr> <td>会場費</td> <td>854</td> </tr> <tr> <td>消耗品</td> <td>251</td> </tr> <tr> <td>通信費</td> <td>140</td> </tr> <tr> <td>リース代</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>広報費</td> <td>205</td> </tr> <tr> <td>交通費</td> <td>77</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>7</td> </tr> </table>	京都府「地域力再生」	493千円	京都新聞社会福祉事業団	40千円	経糸の糸	50千円	バザー・協力抽選券売上	842千円	寄付金	127千円	収入計※	1,552	支出		会場費	854	消耗品	251	通信費	140	リース代	18	広報費	205	交通費	77	その他	7
京都府「地域力再生」	493千円																														
京都新聞社会福祉事業団	40千円																														
経糸の糸	50千円																														
バザー・協力抽選券売上	842千円																														
寄付金	127千円																														
収入計※	1,552																														
支出																															
会場費	854																														
消耗品	251																														
通信費	140																														
リース代	18																														
広報費	205																														
交通費	77																														
その他	7																														

事業項目	事業目的	事業結果・今後に向けて
<p>第3回ボランティア市民フェスタ 12/20(日) 午前10:00～午後4:00 会場:みやこめっせ</p>	<p>京都市福祉ボランティアセンターと京都市市民活動総合センターが主催。</p> <p>京都を中心に活動するボランティア・市民活動団体がたくさんの人と出会い。活動に魅力を伝え、交流するイベント。</p>	<p>・今回はフリーマーケット部門に出店した。ウエスメンバーと協会会員、登録ボランティアが当日17名参加。</p> <p>・抽選券の半券投票金額(参加団体に半券を投票すると1枚あたり1円50銭になる)5,738円</p> <p>・京都市福祉ボランティア・センターと市民活動総合センター共催で幅広い分野から参加団体があり、新たな活動分野との出会い、なじみのグループ出展もあって新たなふれあいと旧交を温める部分もある。</p> <p>・ボランティア同士の当日ボランティア活動を通じての交流ができ、来場者数約9000人は魅力的で、広くアピールできる場としても活用していきたい。</p>

事業項目	事業目的	事業結果・今後に向けて	
<p>サロン活動</p> <p>「ねこのてさろん」の運営</p> <p>継続 通年</p>	<p>・多様な興味、関心を持つ人たちとの交流を確保するため多様なメニューを確保する。</p> <p>企画等でのボランティア活動者募集中</p>	<p>4/11 夜桜見物 府立植物園(30人参加)</p> <p>4/25・6/27・10/24・11/28・12/19・1/23・2/27 健康麻雀・囲碁講座・将棋・陶芸教室(7回)</p> <p>5/30 バーベキュー交流会(30人参加) 城陽市青少年活動センター(友愛の会)</p> <p>6/14・11/22 市役所前フリーマーケット参加(2回) (参加延べ20人)</p> <p>7/25・8/22 第3回きょうぼボラふれあい祭準備(2回)</p> <p>11/1 京野菜を食べる会(参加40人) (場所:宇治ゆめはあと)</p> <p>11/8 五目並べ(連珠京都大会)(4人参加) (参加人数に対して協力金還付)</p> <p>12/19 ねこのてさろん親睦交流会(15名参加)</p>	<p>互いに「ねこの手になろう」と、多くの人の手による支えと協会の賑わいを再びと開始された「ねこのてさろん」だが、開催されるメニューは企画内容と講師選びに難航している。</p> <p>麻雀以外にも手軽に参加できる企画があり、ハンディのある人たちも参加してのさろんとなり、協会会員や登録ボランティアなど新たな顔ぶれとの出会いもあり継続していく大切さを認識させられた。</p> <p>本年度からボランティアの企画・運営に移行したが、2年目にはいりビューローでの企画にマンネリ化がみられ人集めがむずかしい。京野菜やバーベキュー等のアウトドアなイベントは人が集まりやすい。来年度から本格的にボランティアスタッフがビューローでの企画内容等と再検討していく。手軽に集える場所、仲間作りの場、何より協会事業への興味を育み一人でも多くの参画が得られるような場所の提供になっていくことが求められる。</p>
<p>ウエスグループへの支援</p> <p>・ミニバザーの実施 ・市役所前フリーマ</p>	<p>・活動歴25年近いグループであり、協会活動の支援者である。メンバーの高齢化により、活動の継続を目的に支援する。</p>	<p>・ウエス作業第2・4木曜(ウエス販売含む) 売上金額19千円)</p> <p>ウエス作業の現場である大徳寺作業所と、近隣との交流を目的にウエスグループ中心にスタートしたミニバザーも5年目を迎える。この催しも、手際よい準備にはじまるグループの積極的な行動あればこそ開催できる。やすらい祭りのお囃子や、舞を見ながらのバザーは風情がある。近隣の住民から物品の提供や寄付金、情報も届き始めている。</p> <p>・ミニバザーの実施(大徳寺4/12・市役所前フリーマ6/14・11/22) 参加延べ23人 売上金額97千円</p> <p>売上げは天候に影響される。なによりも協働作業から得る一体感、交流、ボランティア活動資金としての還元、リサイクル活動への参加と意義は大きい。ただ、メンバーの年齢が高齢化し、物品整理に負担が多い。新しいメンバーの参加を求めたい。無理のない範囲で、活動の継続に意義を見出し、開催できることを期待したい。</p>	

<p>ウエスグループ & 「よりあい」の場の開設</p>	<p>・作業、バザーを通した、7年に及ぶ地域とのかかわりから、地域との交流機会を設ける。</p>	<p>・ウエスグループ & 「よりあい」の場の開設 (第2・第4木曜日)</p> <p>・ボランティアスタッフの確保</p> <p>・小規模多機能事業所「ガーデンハウス西賀茂」見学</p> <p>・諸団体の啓発活動への参加協力(共同募金他)</p> <p>・開設に当り地域、関係団体に対する調整作業</p> <p>・ウエス作業終了後、「よりあい」を開催する。</p> <p>・内容等はメンバーと企画する。 会場は「大徳寺作業所」で開催する。 周辺住民にも声をかけ、参加を促す。</p>	<p>・使い古し綿布、タオル、切手等の提供を通年、HP、京都新聞、ボランティアグループが切手整理、ウエス作りを行っている。売上はボランティア活動資金に還元し、20年以上活動が継続されている。</p> <p>・ウエス材料の回収、注文受けた事業所への配達にはボランティアによりなされている。</p> <p>・ウエス作業支援(ウエス販売含む)</p> <p>作業後弁当を取り会食・懇談は定着</p>	
<p>京都府福祉大会 開催日：2009年9月10日 会場：京都テレサ</p>	<p>主催：京都府、京都府社会福祉協議会、京都府共同募金会、京都ボランティア協会(協会参加者、理事長外5名)</p>	<p>実行委員として例年参加。09年度はボランティア団体による活動発表が従来の展示コーナーを設けられた。協会からは「ユニバーサルデザイン」のビデオを流した。他には、協会のイベントのチラシ等を配布した。定期的な大きな開催事業であるため、関係機関との協働、交流の機会として、当協会としては今後とも関係機関と、協働してゆきたい。</p>		

3. 【広報事業】

			決算	
事業項目	事業目的	事業結果・今後に向けて	収入	支出
<p>「ボランティア」・「きょうボラ」の発行</p>	<p>協会の情報発信媒体として会員他、関係機関関係者に送付すると共に、広く広報紙として配布する。</p>	<p>・5月、9月、11月(祭号)、1月、3月各月発行(ボランティア発行部数1500部・きょうボラ発行部数2000部) 毎回ボランティアによる発送作業は継続している。</p>	103	960
<p>「ボランティア」のDVD化</p>		<p>・「ボランティア」のDVD化 2010に実施</p>	<p>発送作業もウエスグループの活躍はおおきい。 「第4回きょうボラふれあい祭」に展示予定</p>	
<p>協会パンフレット(リーフレット)</p>	<p>会員 拡大</p>	<p>10,000部増刷(京都府生命保険協会助成金による)会員拡大につなげたい。</p>		
<p>ホームページの管理</p>	<p>協会の情報発信媒体として、事業にかかる迅速な情報並びに多様な関連情報を配信し双方向の情報交換を目的とする。</p>	<p>画面構成や内容刷新が課題である。ホームページは協会の貴重な情報媒体の一翼を担っている。協会の貴重な広報媒体であり、2009年度は画面構成や内容等がリニューアルされた。ホームページ作成や更新作業はボランティアによって行われていたが、本年度からは「CG&CR AFTまあ工房」に依頼した。協会事業紹介やボランティア募集情報は職員が随時更新し、ボランティア相談や問合せ、講座申込、ウエス注文などがホームページを見て届く状況は続いている。</p>		

		<p>・8月ホームページリニューアル完了(費用341千円)</p> <p>・評価事業の掲載の準備に入った。会員や一般市民向けに評価事業を広報するため。</p>		
季刊ボランティア発行支援	協会ボランティアスタッフにより企画編集し情報収集、スタッフの視点から、インタビューや、調査等を盛り込んだ広報冊子を作成し発信する。	<p>協会の貴重な広報媒体であり、今年度は画面構成や内容等がリニューアルされた。ボランティアグループ、施設などのボランティア情報を季刊で提供してきた。当該冊子のほかインターネット上での情報提供も実施している。当冊子はグループ紹介や、インタビューの記事を掲載するなど、独自の企画、紙面作りで発行されている。創刊から10年以上の実績がある。</p> <p>企画・取材・編集・発送はボランティアによって行われ、新しいメンバーも加わり30代5人・20代1人である。全員が仕事を持ちながらの活動はモチベーションを保つことが難しいなかで、事務作業を自宅及び協会事務所で行っている。若い視点で作られた冊子は、新たにボランティア活動に興味を持つ若い社会人からの問合せもあり、新たなメンバーを呼び込みながら継続的に地道な活動ができるように応援していきたい。</p>		

4.【研修事業】

			決算	
事業項目	事業目的	事業結果・今後に向けて	収入	支出
農村集落とのつながりを共創する一都会の私たちにできること	新規領域への活動を開拓する	佛教大学と一年間協働。農村集落の過疎化や高齢化がすすみ、今日に地域に文化、自然、町おこし等を考える機会をえることができた。美山福居地区の「草刈と虫狩り」他かかわりをもった。	905	730
フォトストーリーを作いませんか	活動記録技法の一つとして学習する	3月の毎月曜日パソコン講座ーボランティアグループ、NPO団体、事業所などを対象に実施した。多くの写真を20分ぐらいにまとめ、ナレーションや音楽、字幕を入れ最終日に発表ができた。(延10人参加)		
ガイドヘルパー養成研修	<p>障害者対象介護技術の学習機会の提供。国基準に即した障害者介護にかかる研修、終了後京都市承認書を発行する。</p> <p>・移動支援従業者増加への貢献、ボランティア活動以上の専門的知識・技術の習得。</p>	<p>・全身性障がい 09年12月実施、修了者17人、知的障がい 10年2月実施、修了者17人。</p> <p>「全身性障がい者ガイドヘルパー」は毎年、「知的障がい者ガイドヘルパー」は4年ぶりの開催であった。受講生は現場経験のある人たちが多数参加してくださっている。高齢者分野のヘルパー、新人ヘルパーや改めて復習の意味で参加している受講生からまったく経験のない学生までの参加と経験や年齢層に幅のある講座である。資格取得へ熱心に参加される姿は今年も見受けられた。</p> <p>特に、交通機関を利用した演習は、ヘルパー経験者からも概ね好評で、今回知的障がい者当事者と一緒に、グループではあったが「外出」でき、好評であった。</p> <p>講義は実務経験者中心にお願いし、現場の声を伝えていただいた。</p>		
華頂高等学校エデュ・コース年間授業契約(継続)	企画・運営をコーディネートする	高等学校3年生を対象に講師を派遣しボランティア講義を行うー2クラス。ボランティア活動を行っている方中心に活動紹介を行った。卒業した生徒たちが異口同音に「大変勉強になり多くのこと考えさせられました」と感想を述べている。		
		ボランティア活動の基本的精神やその社会的意義、又様々なボランティア活動の取組、そしてボランティア活動がかかえている課題等を学ぶ講座にしたい。		

		【授業の協力団体】 ゆめはうす・介助犬センター・春日住民福祉協議会・コラボネットの京都自立センター・全国手話研修センター・京都市聴覚障がい協会・ライトハウス情報センター・上京ふれあいさろん・京都語り部の会他		
高齢者問題を考える講座		高齢者に関するさまざまな課題について講座をおこなう。ボランティアグループ、NPO団体との連携を考える。本年度は未執行である		

5.【研究事業】

事業項目	事業目的	事業結果・今後に向けて	決算	
			収入	支出
支えあい・地域から学ぶ～住民と市民ボランティアのネットワークを探る～	ボランティア活動領域の開拓	関係者との事前打合せ。区レベルの福祉機関と連携をし、当事者の視点から調査を実施し、ボランティアの開拓を行う。	15	6
京都の農村集落とのつながりを共創する(調査・地域選定)	チームづくり、検討会議の開催	京都府農村水産部農村振興課からの紹介で佛教大学と美山・福居地域との協働が始まった。農村集落について学び、京都府下における集落の実態を学ぶ。		
学生インターンシップ	多様な人材との協働、参加を期待	・関連情報の収集。 ・立命館大学ボランティアコーディネーター養成研修2名受入 ・龍谷大学短期大学部実習生1名受入 ・3名の実習生は「第3回きょうぼうふれあい祭」中心に受け入れた。		
施設における技術ボランティアコーディネートの実態について	担当者向けコーディネート学習	最近増加傾向にある技術系ボランティアの施設における効果的な参加について、施設コーディネーター担当者と検討機会を設ける。活動中のボランティアのアンケートもあわせて行う。		

6.【地域密着型外部評価、介護・福祉サービス第三者評価、介護サービス情報の公表調査】

事業項目	評価実施状況	事業内容	研修・実績	決算	
				収入	支出
地域密着型外部評価事業の充実 調査員	前年度より9事業所増となり、計50事業所となる。評価登録者は9名であるが実質稼働は限定されており、評価員の増員が急務である	協会と京都府共催で養成研修を計画したが、他1社との調整がつかず、22年実施の方向で検討中である。	3つ評価事業として勉強会・研修会を行なった。 【別紙 資料4・5】	4,770	4,657
介護サービス第三者評価事業の充実	受診件数が前年度より10事業所減になり、8事業所となる。	2009年度は介護サービスが大幅に減になったことを踏まえて、2010年度はいかなる理由で減になったかを探求し、「第三者評価」のあり方を抜本的に見直し、対策を練る		1,430	1,429

福祉サービス第三者評価事業の充実	協会としては前年通り2事業所であるが、受診事業所全体で大幅減となる(39事業所)。21年度 養成研修で6名の増員となる。	必要があります	※確認事項 評価・調査事業に携わっている調査員(者)は、当協会の会員に加入していただいています。 もし現在未加入の方は、事務局にご連絡下さいますようお願い致します。	6,926	4,354
介護サービス情報の公表調査の充実 研修会	調査員登録者は32名であるが、実質稼働は20名で当初の見込み通り292事業所を実施しました。11の調査機関の中ではトップであった。	2009年度より制度の運用が大幅に改訂されたため、調査のあり方、質の向上に努め、延べ11回の勉強会・研修会を実施しました。			

7.【企業・労働組合の社会貢献活動の推進】

			決算	
事業項目	事業目的	事業結果・今後に向けて	収入	支出
企業との協働作業の開拓	祭を含む事業への参画・参加を工夫する	協会行事にかかる企画への参画、参加を案内する。		
企業との交流機会の確保	積極的な情報提供を目指す	ボランティア活動紹介、講師派遣等の企画提案。		
社会貢献顕彰推薦者 表彰報告	国際ソロプチミストアメリカ 中央リジョン2009年度は宮井久美子氏 社団法人京都犯罪被害者支援センター事務局長(元京都ボランティア協会副理事長)として22年の永きに及ぶ犯罪被害者支援活動に対し、その功績が認められ表彰された。 2010年度オムロン地域基金の「ヒューマンかざぐるま大賞」を受賞され、国際ソロプチミストアメリカとのダブル受賞となった。	今後に向けて地道なボランティア活動を継続してこられた方達の活動をアピールしてゆくことは、協会の使命でもある。先進的活動実践には常に関心を寄せ、情報収集していきたい。身近な場で、継続して福祉等活動をされている方の情報を提供ください。		
北大路ビブレ幸せの黄色いレシートキャンペーン	毎月11日10時～18時北大路ビブレ食品売場付近で㈱マイカルが社会貢献活動を目的に実施(開始2007年)。	2009年度は合計158,900円をギフトカードで受領(2010.4.11)。第4回きょうボラふれあい祭抽選券景品に8万円 協会事務用品7.89万円予定。キャンペーンの為のボランティア延べ60名。気軽に参加できるボランティア活動の一つである。一人でも多くのボランティアを求めていく。一般市民への協会活動の広報・啓発機会と促え。地道な活動を行なう。		

8.【ボランティア団体・NPO団体、当事者支援】

			決算	
事業項目	事業目的	事業結果・今後に向けて	収入	支出
団体、当事者への支援	協会が保有する資源提供による支援	・交流機会の確保 ・りすの会への活動支援		

	<p>新しいボランティアグループが誕生した。協会として2008年度3月からボラに呼びかけチームを作り、2010年4月にりすの会として第1回説明会を行なうに至る。ほぼ月に1回会議をもち、地域包括支援センターへのアンケートなどについて話し合いが32回行なわれた、独居高齢者在宅リスナーボランティアグループ「りすの会」として開始。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・双子の会等への活動支援 ・ボランティア団体・NPO団体・当事者への相談活動/相談の中で「ボランティアしたい」11件は特技披露の場の紹介が中心。「ボランティアほしい」相談は82件居宅ケアマネ、相談員が自分の担当者の相談を投げかける内容が中心。従って、活動先は個人のお宅になっていく。 ・受付けた依頼の中で団体から36件(C、Dケース)。Cはメンバー募集、Dは行事支援や保育、外出など余暇支援応援をしてほしいという単発依頼が中心。 	
--	---	--

II 組織・運営

1.【組織・運営体制整備】

事業項目	事業目的	事業結果・今後に向けて	決算	
			収入	支出
組織基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・年々会員が減少しているため (目標450名。正、賛助、後援会員) 	<ul style="list-style-type: none"> ・会員拡大委員会の設置ができていない。リーフレット増刷を有効に生かしていく。 ・事業紹介のためのパンフレット増刷10,000部・記録の作成・整備。パンフレット増刷10,000部・フォトストーリーCDを100枚(祭)作成。 ・イベント等参加団体・者への会員案内。「ボラタス」郵送 ・新聞社・関係団体の広報媒体の活用。「ボラタス」郵送 ・理事、会員との交流の機会を設けるために、総会後の交流会を設けている。 		
運営体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアと協調しつつ、迅速効率的な事務執行体制を築く ・職員体制 ボランティア賠償保険 ・協会事務局の情報ネットワークシステムの構築と運用の設計・施工 ・ボランティアスタッフ体制 	<ul style="list-style-type: none"> ・新公益法人移行準備委員会の開催は未実施であるが、2010年2・3月(須戸氏と)に会合を行った。京都府 2/1・2/23公益・一般社団の認定予定法人向け説明会参加した。 ・新事務局長就任したが一身上都合で退職 ・パート職員をハローワークに依頼中 募集2名 ・万一事故があった場合に備え、協会として賠償保険を行なった。参加グループは9団体。 ・ネットワーク環境設定・バックアップハードデスク等メール運用コンサルタント設定完了。これにより事務局内のネットワーク・情報が共有化された。またバックアップ構築により情報の保存が確立。(京都府共同募金会100,000円助成金による) ・理事、ボランティアスタッフ、事務局員との連携の強化 ・ボランティアスタッフについては3回会合を行なう。ボランティアによる参画による運営委員会の設置について検討した。ボランティアスタッフ研修会2010年第1回総会の後、開催予定 		
ボランティアビューローの管理・運営	場の有効な管理運営を目指す	<ul style="list-style-type: none"> ・利用状況の把握・管理 りすの会・お誕生日ありがとう・インホープ等の団体が交流の場として頻りに利用されているが更に輪を広げたい。 ・広報物の掲示・整理のためチラシラック等購入(京都府共同募金会助成) 		

<p>財源の確保</p> <p>助成・寄付を受けた団体名等※</p>	<p>財源確保による安定的事業運営</p> <p>ソロプチミスト京都 京都府共同募金会 京都府生命保険協会 京都橋ライオンズクラブ 京都府地域力再生 京都新聞福祉事業団</p>	<p>・寄付金 09.4月～10.3月まで</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="920 165 1279 225"> 指定寄付 第3回きょうボラふれあい祭」 </th> <th data-bbox="1317 165 1480 204"> 一般寄付 </th> <th colspan="2" data-bbox="1503 165 1944 204"> (敬称略・順不同) </th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="920 240 1279 560"> 古川善紹 岡本民夫 猪鼻幸子 須山真行 福田博之 小林聡 大前博 大川昭 森内依理子 高瀬博章 高橋泰子 経系の会 匿名3名 </td> <td data-bbox="1317 240 1480 560"> 松本淳子 山下昇一 梅原悦子 笠原道子 鎌光新治 安田行雄 松井三千 小杉總子 西田靖子 布施康子 岡本民夫 小川喜代子 鳥羽幸代 </td> <td data-bbox="1503 240 1704 560"> 薬師寺毅 玉川和子 小谷節子 山本賢治 花園道心太鼓 阿部秀樹 松尾久子 小川喜代子 谷岡孝子 阿部隆二 福本滋 余根田保 友江洋子 </td> <td data-bbox="1704 240 1944 560"> 世川友裕 岩佐敏子 藤本守 上村正文 竹中郁子 江川みゆき 村上安子 丸清木材(株) 匿名4名 </td> </tr> </tbody> </table>	指定寄付 第3回きょうボラふれあい祭」	一般寄付	(敬称略・順不同)		古川善紹 岡本民夫 猪鼻幸子 須山真行 福田博之 小林聡 大前博 大川昭 森内依理子 高瀬博章 高橋泰子 経系の会 匿名3名	松本淳子 山下昇一 梅原悦子 笠原道子 鎌光新治 安田行雄 松井三千 小杉總子 西田靖子 布施康子 岡本民夫 小川喜代子 鳥羽幸代	薬師寺毅 玉川和子 小谷節子 山本賢治 花園道心太鼓 阿部秀樹 松尾久子 小川喜代子 谷岡孝子 阿部隆二 福本滋 余根田保 友江洋子	世川友裕 岩佐敏子 藤本守 上村正文 竹中郁子 江川みゆき 村上安子 丸清木材(株) 匿名4名	
指定寄付 第3回きょうボラふれあい祭」	一般寄付	(敬称略・順不同)									
古川善紹 岡本民夫 猪鼻幸子 須山真行 福田博之 小林聡 大前博 大川昭 森内依理子 高瀬博章 高橋泰子 経系の会 匿名3名	松本淳子 山下昇一 梅原悦子 笠原道子 鎌光新治 安田行雄 松井三千 小杉總子 西田靖子 布施康子 岡本民夫 小川喜代子 鳥羽幸代	薬師寺毅 玉川和子 小谷節子 山本賢治 花園道心太鼓 阿部秀樹 松尾久子 小川喜代子 谷岡孝子 阿部隆二 福本滋 余根田保 友江洋子	世川友裕 岩佐敏子 藤本守 上村正文 竹中郁子 江川みゆき 村上安子 丸清木材(株) 匿名4名								